



電気自動車充電設備

機械式駐車装置

取扱説明書

IC No : P 幹 20251111

操作盤 : LC-IC

この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、いつでも必要な時に取り出せるよう大切に保管してください。

IHI運搬機械株式会社

目 次

1.	はじめに	1
1-1	危険・警告・注意および記号について	2
1-2	本書対象者の定義	3
2.	電気自動車充電設備	4
2-1	電気自動車充電設備に関する安全重要項目	4
2-2	充電設備外観図	6
2-3	各部の名称と概要	7
2-4	充電時間.....	7
3.	充電方法	8
3-1	充電ケーブル接続	8
3-2	充電ケーブル取り外し	11
4.	故障かなと思ったら	13
4-1	故障かなと思ったら	13
4-2	よくある質問	13
5.	EV・PHEV 充電用 接地コンセント 取扱説明書.....	14

1. はじめに

この取扱説明書（以下「本書」）は、機械式駐車装置（以下「パーキング」）の電気自動車（以下EV・PHEV）充電設備を安全にご使用いただくために、オーナー・管理者・取扱者を対象に使用方法および日常の点検について説明しています。

パーキングは正しく使用すれば事故が起きないように、安全に配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、けがや死亡、物損につながる危険性があります。

パーキングを安全にお使いいただくために、必ずご使用になる前に機械式駐車装置取扱説明書と合わせて本書をよく読み内容を十分理解して正しくお使いください。

本書の記載内容を遵守しない場合に発生した事故に関しては、当社は責任を負いません。



EVはElectric Vehicle（電気自動車）、PHEVはPlug-in Hybrid Electric Vehicle（プラグインハイブリッド電気自動車）の略称です。

1-1 危険・警告・注意および記号について



■ 危険・警告・注意の意味

パーキングは、取扱者の安全を第一に考え、設計されています。しかしながら、システムの性質上、どうしても取り除くことができないリスクが存在します。本書では、それらのリスクのレベルを、「⚠危険」、「⚠警告」、「注意」の3段階に分けて表示しています。表示項目をよく読み十分に理解してから、パーキングの操作および日常の点検をおこなってください。

「⚠危険」、「⚠警告」、「注意」項目の表示は、リスクに関する結果の重大性の順（⚠危険>⚠警告>注意）で、その内容を下記に説明します。

 危 険
「⚠危険」項目は、パーキングの運転中に、人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと考えられる場合について記載しています。

 警 告
「⚠警告」項目は、パーキングの運転中に、人が死亡または重傷を負う可能性がある場合について記載しています。

注 意
「注意」項目は、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こす可能性がある場合について記載しています。

■ 記号の意味

本書では、次のような記号を使用しています。

	おこなってはいけない「禁止」項目を示します。
	必ずおこなっていただく「強制」項目を示します。
	使用の際に参考となる情報です。

1-2 本書対象者の定義

		
オーナー	管理者	取扱者

本書は、パーキングに関与されるすべての方を対象に作成しておりますが、安全上、記載内容に応じ対象者の定義分けをおこなっています。

その対象区別を明記し、該当する対象者のみ記載されている内容をおこなうことが許されます。

シンボル	対象者	説明
	オーナー	パーキングの所有者です。 パーキングを適切に管理するために、管理者を任命し、教育する義務を有しています。管理者を任命しない場合は、オーナーが管理者を兼任し、適切な保守、管理をおこなってください。
	管理者	オーナーから依頼を受け、安全管理に関する最高責任者として、パーキングの保守、管理をおこなう方です。 メンテナンス会社へ定期的な保守作業を委託してください。管理者は取扱者を指定して、使用の許可を与えてください。また、取扱者に対して、本書を配布し、パーキングの取扱方法を十分に指導してください。
	取扱者	取扱者は、本体操作盤を使用して入出庫操作をおこなう方です。 取扱者は事前に本書をよく読み、管理者から取扱方法の指導を十分に受けて許可されたうえで、パーキングを使用してください。 取扱者は入出庫操作における責任者です。入出庫時にお連れの方や、第三者の安全確保・管理および物品の管理を責任もっておこなってください。

“取扱者”に定義される対象者は、マンション・時間貸し駐車場・テナントビルの場合で異なりますので、下表を参照してください。

用 途	取扱者
マンション	使用を許可された者
テナントビル	使用を許可された者
月極駐車場	使用を許可された者
時間貸し駐車場	使用を許可された専任の者

本文中では以下の例のようにシンボルを用いて対象となる方を示します。

(例) オーナーと管理者のみが対象の内容。

		
オーナー	管理者	取扱者

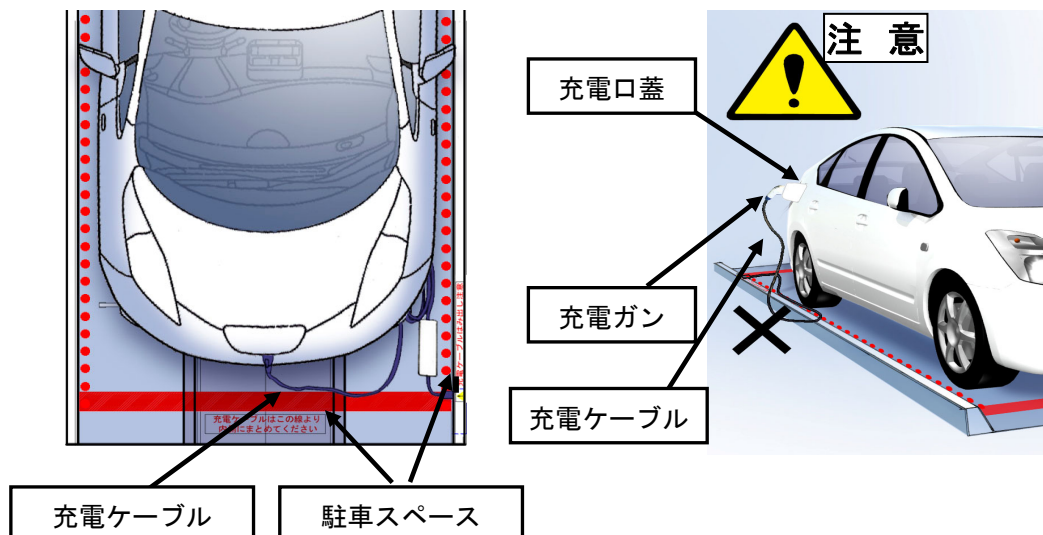
2. 電気自動車充電設備

2-1 電気自動車充電設備に関する安全重要項目



電気自動車充電設備の一般的な危険、警告項目について、以下に記載しています。
機械式駐車装置取扱説明書と合わせてご覧ください。

 危険	
	■充電設備を分解・改造しないでください。 充電設備を分解・改造すると感電し、死亡または重傷を負うおそれがあり危険です。また、発熱、焼損、火災の原因となります。 ■濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 濡れた手で電源プラグを抜き差しすると感電のおそれがあり危険です。乾いた手で電源プラグの抜き差しをおこなってください。
	■必ず本コンセントに接続できるEV・PHEV専用電源プラグをご使用ください。 本コンセントは、パナソニック株式会社製のEV（Electric Vehicle）自動車、PHEV（Plug-in Hybrid Electric Vehicle）プラグインハイブリッド自動車に使用する充電専用コンセントです。対応コンセント以外に交換すると発熱するおそれがあり、焼損や火災の原因となり危険です。おやめください。 また、コンセントにEV・PHEV専用電源プラグ以外の異物を差し込んだり、コンセントカバーなどが破損した状態で使用したり、変形した電源プラグを使用すると、漏電・感電のおそれがあり危険です。おやめください。このような状況を発見した場合は使用せず、管理責任者またはメンテナンス会社までお問い合わせください。 ■電源プラグの抜き差しが極端に弱くなったコンセントは使用しないでください。 発熱するおそれがあり、焼損や火災の原因となり危険です。おやめください。 ■コンセントと電源プラグは直接接続してください。 コンセントとの間に自動車メーカー推奨品以外の延長コードを使用しないでください。誤って接続すると、漏電や火災の原因になり危険です。おやめください。

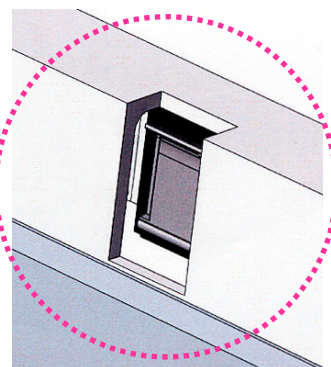
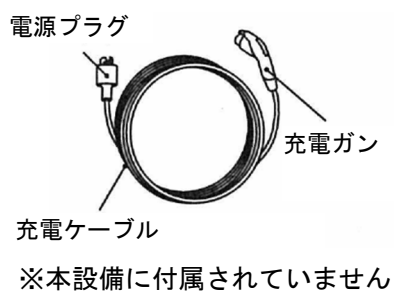
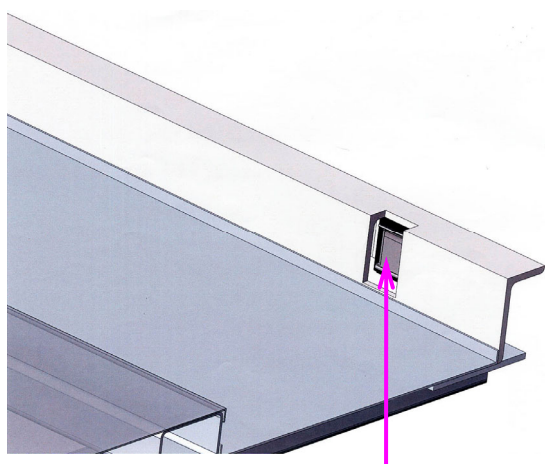
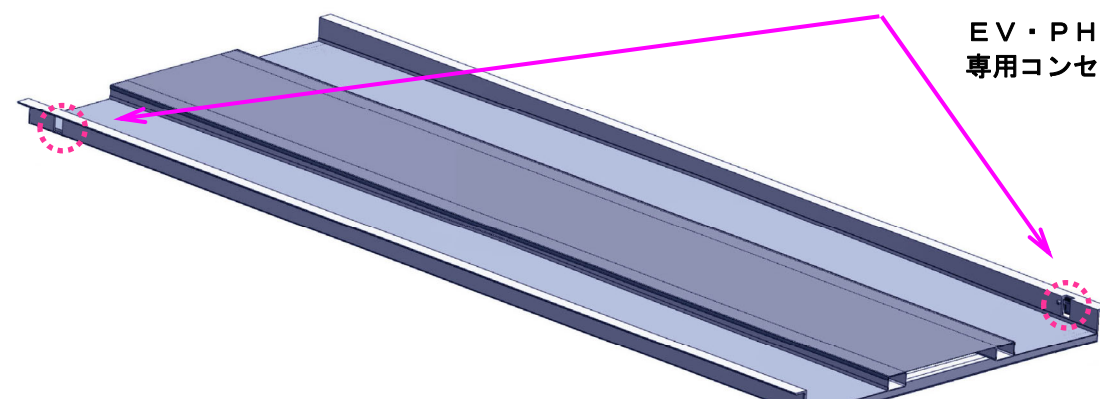


 警 告	
	■ 充電作業中は、足元に注意してください。 充電作業中は、段差などでつまづき転倒しないようご注意ください。ハイヒールなど、かかとの高い靴を履いて充電作業をすると危険ですのでおやめください。
	■ コンセントカバーを開閉する際は、手を挟まないようご注意ください。

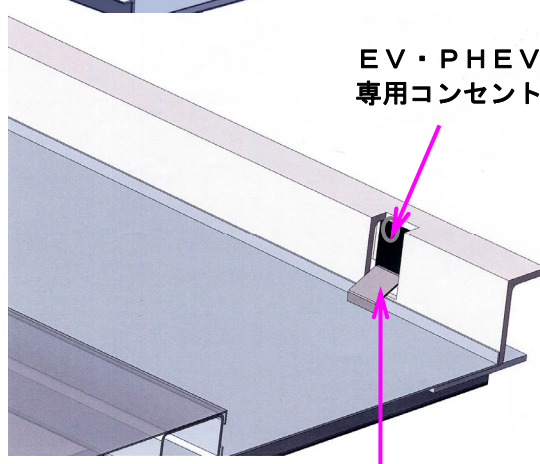
注 意	
	■ 電源プラグが引っ張られた状態で使用することはおやめください。 電源プラグやコンセントが破損したり抜けるおそれがあります。
	■ 電源プラグを引き抜く場合は、ロックを解除してから抜き取ってください。 無理に引き抜くとコンセントカバーが破損するおそれがあります。 ■ 充電ケーブル接続後、充電ケーブル、充電ガンおよび充電口蓋が駐車スペースから、はみ出していないことを確認してください。 充電ケーブル、充電ガンおよび充電口蓋が駐車スペースからはみ出している状態で、パーキングを動かすとケーブルの断線、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 EV 車種および停車位置によっては、充電ガン、充電口蓋が駐車スペースからはみ出してしまうため、入庫できない場合があります。充電ガン、充電口蓋がはみ出さない位置に車を入れなおしてください。

2-2 充電設備外観図

		
オーナー	管理者	取扱者

EV・PHEV
専用コンセント

コンセントカバー（閉）



コンセントカバー（開）

※上図は、実際と異なる場合があります。

	・本充電設備には、充電ケーブル（充電ガン）は付属されておりません。 ・充電ケーブルは、各EV・PHEVの車載品をご利用ください。 ・充電ケーブルの取り扱いについては、各自動車付属の取扱説明書をご覧ください。
---	---

2-3 各部の名称と概要



本装置は、EV・PHEVに充電するためのAC200V／220V専用設備です。
EV・PHEV専用コンセントとコンセントカバーで構成されています。
設備の名称とその働きについては、以下のとおりです。

名 称	概 要
EV・PHEV 専用コンセント	EV・PHEVに充電するための専用コンセントです。 (単相交流200V／220V／20Aを搭載しています。)
コンセントカバー	EV・PHEV専用コンセントに装備されたカバーです。

※本充電設備のコンセントは、パナソニック株式会社製です。

▼「5.EV・PHEV充電用 接地コンセント取扱説明書」を参照してください。

なお、付属の取扱説明書に記載された「使える電源プラグ」と、自動車の充電ケーブルが対応しているかを、ご使用前にご確認ください。

本充電設備対応電源プラグ



20A 250V



充電電流が20Aを超えると過電流により、充電ができません。

2-4 充電時間

EV・PHEV専用パレットに入庫完了し、次の利用者の方が入出庫呼び操作をおこなうと、入庫車を所定の駐車棚に格納したのち、充電を開始します。次の利用者が入出庫呼び操作をおこなわなかった場合でも、入庫完了後一定時間が経過すると、自動で所定の駐車棚に格納し、充電を開始します。

充電に必要な時間は、各自動車の取扱説明書にてご確認ください。



コンセントと電源プラグを接続してから一定時間（1～5分程度）は通電されません。充電が開始されるまでの時間に制約がある車種につきましては、充電されない可能性があります。
ご使用前に、各自動車メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

3. 充電方法

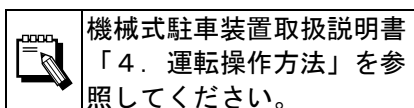
3-1 充電ケーブル接続



充電ケーブルを接続する前に「2-1 電気自動車充電設備に関する安全重要項目」をよく読んでから作業をおこなってください。

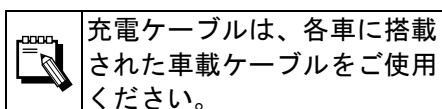
1. パーキングの外で同乗者をおろします。荷物がある場合は、パーキングの外でおろします。

2. 本体操作盤で入庫呼び操作をおこないます。

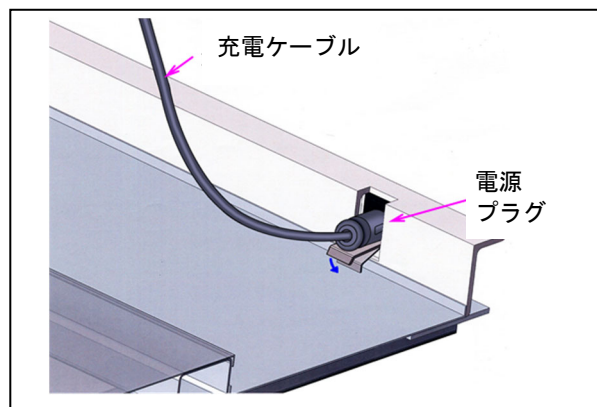


3. 前進でゆっくりと入庫します。

4. 充電ケーブルを用意します。



5. 充電ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源プラグがしっかり差し込まれていることを確認します。

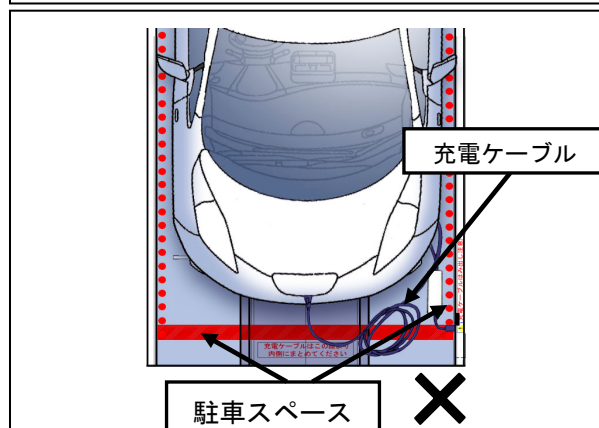
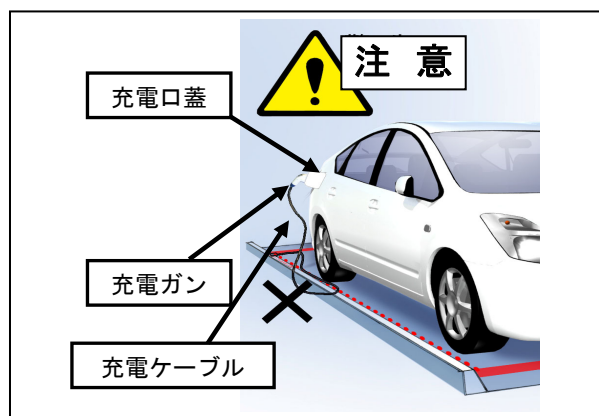


6. 充電ケーブルの充電ガンをEV・PHEV用コンセントに差し込みます。

 警 告	
	段差等ありますので、足元にご注意ください。

7. 充電ケーブル、充電ガンおよび充電口蓋が駐車スペースからはみ出していないか確認します。


 車に充電ガンを差し込んだ状態で充電ケーブル、充電ガンおよび充電口蓋が駐車スペースからはみ出している場合は、駐車スペース内に必ず納めてください。

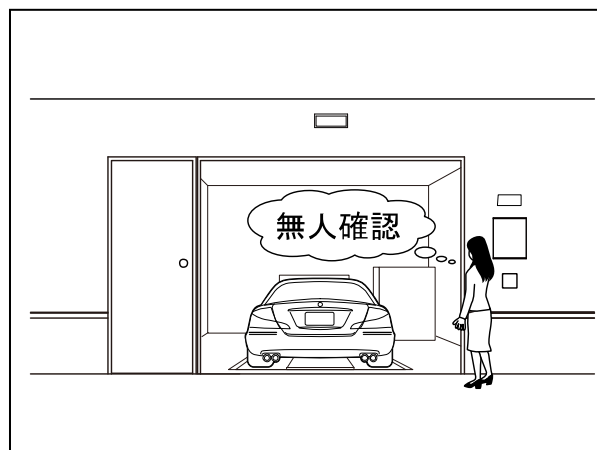


注 意	
	■電源プラグが引っ張られた状態で使用することはおやめください。 電源プラグやコンセントが破損したり抜けるおそれがあります。 ■電源プラグを引き抜く場合は、ロックを解除してから抜き取ってください。 無理に引き抜くとコンセントカバーが破損するおそれがあります。 ■充電ケーブル接続後、充電ケーブル、充電ガンおよび充電口蓋が駐車スペースから、はみ出していないことを確認してください。 充電ケーブル、充電ガンおよび充電口蓋が駐車スペースからはみ出している状態で、パーキングを動かすとケーブルの断線、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 入庫可能車寸法以内であっても、充電口の設置位置や充電ガンの形状および停車位置によっては、充電ガン、充電口蓋、充電ケーブルが駐車スペースからはみ出してしまうため入庫出来ない場合があります。

8. パーキング内の無人を確認して、
出入口扉を閉めます。



機械式駐車装置取扱説明書
「4. 運転操作方法」を参
照してください。



危 険



閉じ込めによる人身事故のリスクがあります。

- ・入庫操作完了後、出入口扉を閉めるときは、パーキング内の無人を目視および監視モニターにて確認してください。閉じ込めてしまった場合は、非常停止ボタンを押してください。

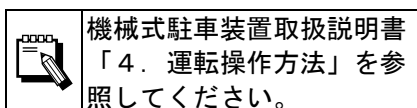
9. パレットを格納後、充電を開始します。

3-2 充電ケーブル取り外し



充電ケーブルを取り外す前に「2-1 パーキングの設備に関する安全重要項目」をよく読んでから作業をおこなってください。

1. 本体操作盤で出庫呼び操作をおこないます。



2. 充電ケーブルの充電ガンをEV・PHEVから抜きます。

注 意



パーキングの運転の妨げになり、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。
パーキング内に充電ケーブルを積み忘れていないか確認してください。

3. 充電ケーブルの電源プラグをコンセントから抜きます。
電源プラグを抜くときは、カバーを指で押し下げながら抜きます。



警 告



段差等ありますので、足元にご注意ください。

注 意



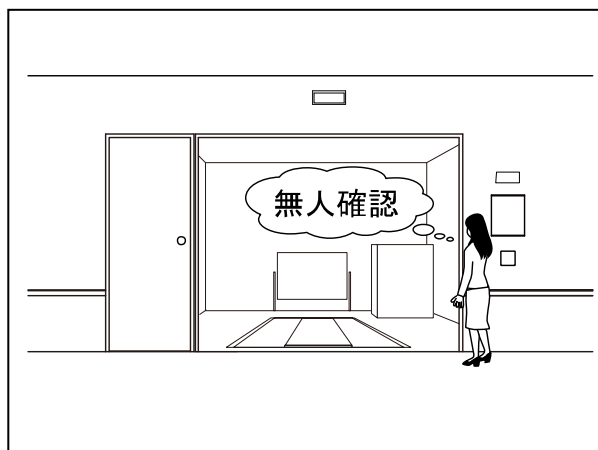
■電源プラグを引き抜く場合は、ロックを解除してから抜き取ってください。
無理に引き抜くとコンセントカバーが破損するおそれがあります。

4. ゆっくりと前進出庫します。

5. パーキング内の無人を確認して、
出入口扉を閉めます。



機械式駐車装置取扱説明書
「4. 運転操作方法」を参
照してください。



危 険



閉じ込めによる人身事故のリスクがあります。

- ・入庫操作完了後、出入口扉を閉めるときは、パーキング内の無人を目視および監視モニターにて確認してください。閉じ込めてしまった場合は、非常停止ボタンを押してください。

4. 故障かなと思ったら

		
オーナー	管理者	取扱者

4-1 故障かなと思ったら

内 容	原 因	対処方法
駐車をしていても充電されない。	EV・PHEV専用コンセントに電源プラグがきちんとさし込まれていない。	電源プラグを奥まで差し込んでください。 ▼「5.EV・PHEV充電用 接地コンセント取扱説明書」を参照してください。
	充電設備機器に不具合がある。	管理責任者またはメンテナンス会社にご連絡ください。 ※絶対に充電設備を分解・改造しないでください。
	ブレーカーがトリップした。	管理責任者またはメンテナンス会社にご連絡ください。

※機械式駐車装置取扱説明書と併せてご覧ください。

4-2 よくある質問

		
オーナー	管理者	取扱者

よくある質問の状況と原因、対処方法を以下に示します。

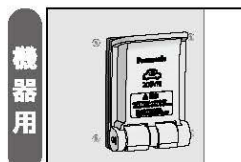
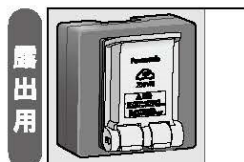
状 況	原 因	対処方法
入庫時、本体操作盤画面にエラーメッセージが表示された。	ドアミラー検知	充電ガン、充電ケーブルおよび充電口蓋が駐車スペースからはみ出さない位置に車両を入れ直してください。 ▼機械式駐車装置取扱説明書「7.こんなときは」を参照してください。
	はみ出し検知	

5. EV・PHEV 充電用 接地コンセント 取扱説明書



Panasonic

取扱説明書



EV・PHEV充電用 接地コンセント(露出・機器用)

品番 WK 3901K(露出用) / WK 39015K(機器用) 100 V用

WK 3911K(露出用) / WK 39115K(機器用) 15 A・20 A 兼用 200 V用

施工店様へのお願い この説明書は必ずお客様にお渡しください。

このたびは、パナソニック製品をご採用いただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

■この取扱説明書は大切に保管してください。

この製品はEV(Electric Vehicle)電気自動車、PHEV(Plug-In Hybrid Electric Vehicle)プラグインハイブリッド自動車に使用する充電用コンセントです。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを、説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告…「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



禁止

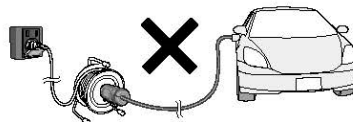
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。
- 負荷容量を超えて使用しない
発熱するおそれがあり、焼損や火災の原因になります。
- 変形した電源プラグは使用しない
発熱するおそれがあり、焼損や火災の原因になります。
- 水をかけない
万一水がかかったときは、すぐに使用を中止し、乾いた布でふき取る
漏電・火災・感電の原因になります。

- 電源プラグの抜き差しが極端に弱くなったコンセントは使用しない
発熱するおそれがあり、焼損や火災の原因になります。
- カバーなどが割れた状態では使用しない
感電の原因になります。
- コンセントの差し込み口が焦げている状態では使用しない
焼損や火災の原因になります。



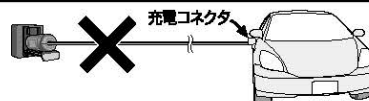
必ず守る

- コンセントと電源プラグは直接接続する
(コンセントとの間に自動車メーカー推奨の延長コード以外は接続しない)
誤って接続すると、感電・火災の原因になります。
- 電源プラグはしっかり奥まで差し込んでロックする
差し込み不十分な場合、焼損や火災の原因になります。



使用上のご注意

- 電源プラグを引っ張った状態で使用しないでください。
ロックがはずれて電源プラグが抜けるおそれがあります。



お願い

コンセントには寿命があります。差し込みがゆるくなったり、コンセントカバーが閉まらなくなったときは、コンセントの寿命です。施工店に依頼して、新しいコンセントに交換してください。

【交換の目安として1日10回の抜き差しで約3年※です。】

※：交換目安は、製品の保証期間とは異なります。

使える電源プラグ

EV・PHEV充電用 電源プラグ

(日本配線システム工業会規格JWDS-0033に準拠)



●EV・PHEV充電用 以外の電源プラグを使用する場合、
通電はできますが、ロック機能は働きません。

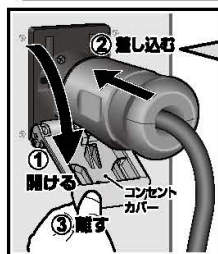
外径の大きな電源プラグは使えません

100 V用	200 V用
$\phi 39$ mmを超える 接地2Pプラグ 30 mmを超える 18 mmを超える 2Pプラグ平形 $\phi 32$ mmを超える 2Pプラグ丸形	$\phi 39$ mmを超える 接地2Pプラグ $\phi 32$ mmを超える 接地のないプラグ

電源プラグ着脱方法

●このイラストは機器用です。露出用も同様に着脱できます。

差し込むときは



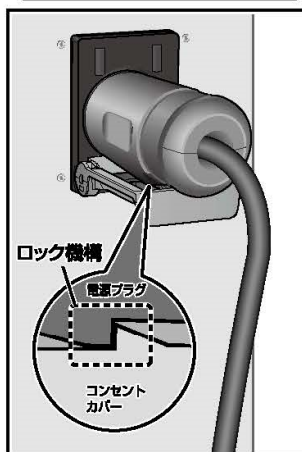
警告
しっかり奥まで
差し込んで
ロックする

●コンセントカバーの手を離すと、
電源プラグはロックされます。

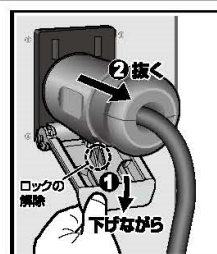
●注意

電源プラグがロックされていることを確認して
ください。ロックが不十分のまま使用すると、
充電中に電源プラグが抜けるおそれがあります。

ロックされている状態



はずすときは



●コンセントカバーを下げることで、
ロックが解除されます。
●ロックが解除されていることを確認してから
電源プラグを引き抜いてください。

●注意

ロックがかかっている状態で無理
に電源プラグを引き抜かないでくだ
さい。コンセントや電源プラグが破
損するおそれがあります。

お手入れ

汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞って拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。
他の方法の場合、表面の変色・溶解など外観を損なうおそれがあります。

アフターサービス

パナソニック お客様ご相談窓口のご案内

■使い方・お手入れ・修理などは、まず施工店へご相談ください。なお、相談先でお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

商品のお問い合わせは

電設資材商品ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/>

【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く)

個人のお客様 0120-878-082

法人のお客様 0120-187-431 ※携帯電話からもご利用になります。

●上記番号がご利用いただけない場合は… 個人のお客様 06-6780-2551
法人のお客様 06-6904-4574

●FAX… 0120-872-460

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3756-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 ~ 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
※上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。
※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

修理のご用命は

修理ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

0120-872-150 ※携帯電話からもご利用になります。

●上記番号がご利用いただけない場合は… 06-6906-1090

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は秘密させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を選択的に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 電設資材ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
© Panasonic Corporation 2018-2023

8A3 X76 0000 4
KS0518DC30523



エレベータパーキング 電気自動車充電設備 取扱説明書

2025 年 11 月 Ver. 3

発行人 IHI 運搬機械株式会社

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部または全部について IHI 運搬機械株式会社から文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。